

〈解答〉

- ① 1 (記号) ウ (品詞名) 動詞 (両解)
2 ウ
3 エ
4 まともに
5 ア

配点 各2点 10点満点

〈解説〉

- ①
1 ア「厳しく」は形容詞「厳しい」の連用形、イ「軽く」は形容詞「軽い」の連用形、ウ「響く」は動詞「響く」の終止形、エ「長く」は形容詞「長い」の連用形である。
2 「そつがない」は「手ばかりがない」、「余念がない」は「ほかのことを考えず、一つのこと熱中する」、「立つ瀬がない」は「自分の立場や面目がない」、「出る幕がない」は「出て何かをしたり、口出ししたりする場面ではない」という意味。
3 波線⑥「油」という漢字のつくりは、右側にある「由」の部分で、これにア「宀(うかむり)」を付けると「宙」、イ「𠂔(たけかむり)」を付けると「笛」、ウ「尸(しかばね・かばね)」を付けると「届」という漢字ができる。
4 傍線①の六～七行前に、「健太は首筋に視線を向けた」、「ああ、色が白いな、と思った」とあるのに注目する。健太は、女の子である友里を意識しすぎて、真剣に組み合うことができなかったことがわかる。
5 ②は、友里の技を称賛し、心の中で言った「実に鮮やかだ」という健太の言葉に注目する。